



あひるぐみだより

2024年度 1月号

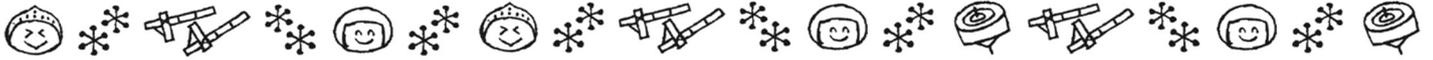
尚徳福祉会生麦保育園



新年あけましておめでとうございます。

園生活にもすっかり慣れて、心も体も大きく成長した子どもたち。言葉もたくさん出てきて、毎日の会話や子ども同士のやり取りが可愛らしくて癒されます。

寒さも強く体調を崩しやすい時期ですが、毎日の視診に気を付けて、元気に過ごしていけるようにしたいと思います。今年もよろしくお願いたします。



進級に向けて…

園生活にもすっかり慣れ、保育者の動きよりも先回りして待っていてくれることも増えてきました。夏頃からグングン成長し、心も体も大きくなった子どもたち。水道の蛇口を一人でひねったり、靴を一人で履くことができるようになったり…保育者が思わず「そんなこともできるの!？」というようなことも満足そうな表情で見せてくれます(笑)

「言葉がなかなかでない。。。」と心配される保護者の方もいらっしゃいますが、4月に比べると「うん」と相槌の返事が聞こえたり、「ありがとう」と保育者や友達に自分から伝えたりする姿も見られるようになりました。言葉の発達ももちろんそうですが、他児との関りを自分から持とうとしたり、大人が言っていることに対して返事をしたりするなど、言葉が出ていなくても子どもたちの反応や興味、身振り手振りに共感して今の姿を見守るようにしています。お家でも、身の回りのことを全て保護者の方がしてしまうのではなく、子どもの成長や「自分でやりたい」気持ちに合わせて「自分でできた達成感」を一緒に味わえるように援助してほしいです。発達のことや日々の育児で心配なことなどありましたら、いつでも声を掛けて下さいね。



最近のあひる組☆彡

初めは7人スタートだったクラスも、今では12人になりにぎやかになりました。一人一人の性格がはっきりと感られるようになり、日々子どもとのやり取りが楽しいです。その中でも子ども同士の相性が見てとても面白く、時に残酷でもあります(笑)安全面を考慮し、背の高さや歩く速度を見て散歩の時の手つなぎペアをしばらく固定していたのですが、最近「〇〇くん!」と特定の子と手をつなぎたい子が集中したり、たまたま隣にいた子同士で目が合い保育者が声を掛けなくても自然に手を繋ぎ合ったり。。と、微笑ましい姿もありますが、「いやっ」「だめ」と相手から強引に来られると泣いて首を横に振る子もいます(笑)これからは子どもたちが自分たちから繋げるよう、促しながら見守っていきたいと思います。イヤイヤ期も終盤になり、落ち着いて話ができるように環境を整えてあげると、落ち着いて保育者の話を聞こうとするこも増えました。子どもとの関りの中で、日々「どうしたらいいだろう」と悩んだり、気持ちを汲み取ってあげられなかったりすることもあります。あひる組としての残りの時間を楽しんで過ごしていきたいと思ひます。

※おねがい※

- ★冬休み中の感染症にかかったお友だちは休み明けに担任に必ず報告してください。感染症の種類によっては、病院で記入してもらおう登園届が必要になります。
- ★乳児クラスは発熱以外の体調不良時もお休みをしてください。(咳鼻水、目ヤニなど含む) 集団生活の場になりますので、クラスだけでなく園内で感染が広がらないよう、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。
- ★今月から、進級に向けて給食を食べ始める時間が15分遅くなります。(11:15～)